



阿賀野市立 京ヶ瀬中学校

～ <http://kyogase-jhs.agano.ed.jp/> ～

京ヶ瀬中学校

〒959-2123
阿賀野市姥ヶ橋739
TEL.0250-67-2004

28-08号

平成28年12月 2日発行

地 域 に 生 き る

校 長 渡 辺 安 治

朝晩の肌寒さや勢いよく降る冷たい雨に、冬の季節を感じる頃となりました。五頭連峰も雪化粧して、いよいよ冬の到来です。寒さに負けず、風邪に気を付けて過ごしたいものです。

11月29日、当校体育館において「あがの子ども未来フォーラムin京ヶ瀬」が開催されました。この催しは、地域に学び、地域でつながる経験を深めることをねらいとしています。お互いが学習の成果を発表することで、故郷に愛着をもち、京ヶ瀬地区の未来を創造する子どもたちの成長を願っています。京ヶ瀬小学校の5・6年生、当校の生徒、先生方、岩村教育長様、圓山教育委員様はじめ、市教育委員会の方々、敬和学園大学の留学生、保護者の皆様、総勢340名が集まりました。

前半は、小学生から京ヶ瀬地区に伝わる伝統芸能と中学生からは、生徒会の活動及び総合的な学習時間の取組を発表しました。小学生は地域の大人から教えていただいたり、すでに芸能を受け継いでいる友達から教えてもらったりした京ヶ瀬甚句や駒林神楽を大切に守っていくという決意を力強く宣言しました。中学校からは、地域や小学校と連携した生徒会の活動として、コスモスロードの整備や熊本震災募金などの発表がありました。そして、中学生が行っている活動が、地域と社会をつなぐ架け橋になることを願っていますという気持ちも来場者に伝えられました。後半は、いじめを解決するために児童・生徒が自分の問題として考え、どう行動したらよいかという視点で、「いじめ見逃し0スクール集会」を実施しました。「二つの笑い」という生徒会役員が演じる劇を見て、いじめ解決に向け、グループを作り、意見を交換しました。そのことから、自分と向き合い、自分の考えを広げたり、深めたりすることができました。

今回は、いじめ見逃し0集会の様子を紹介します。保護者や地域の皆様もいじめ解決について、ご一緒にお考えいただきますようよろしくお願いいたします。

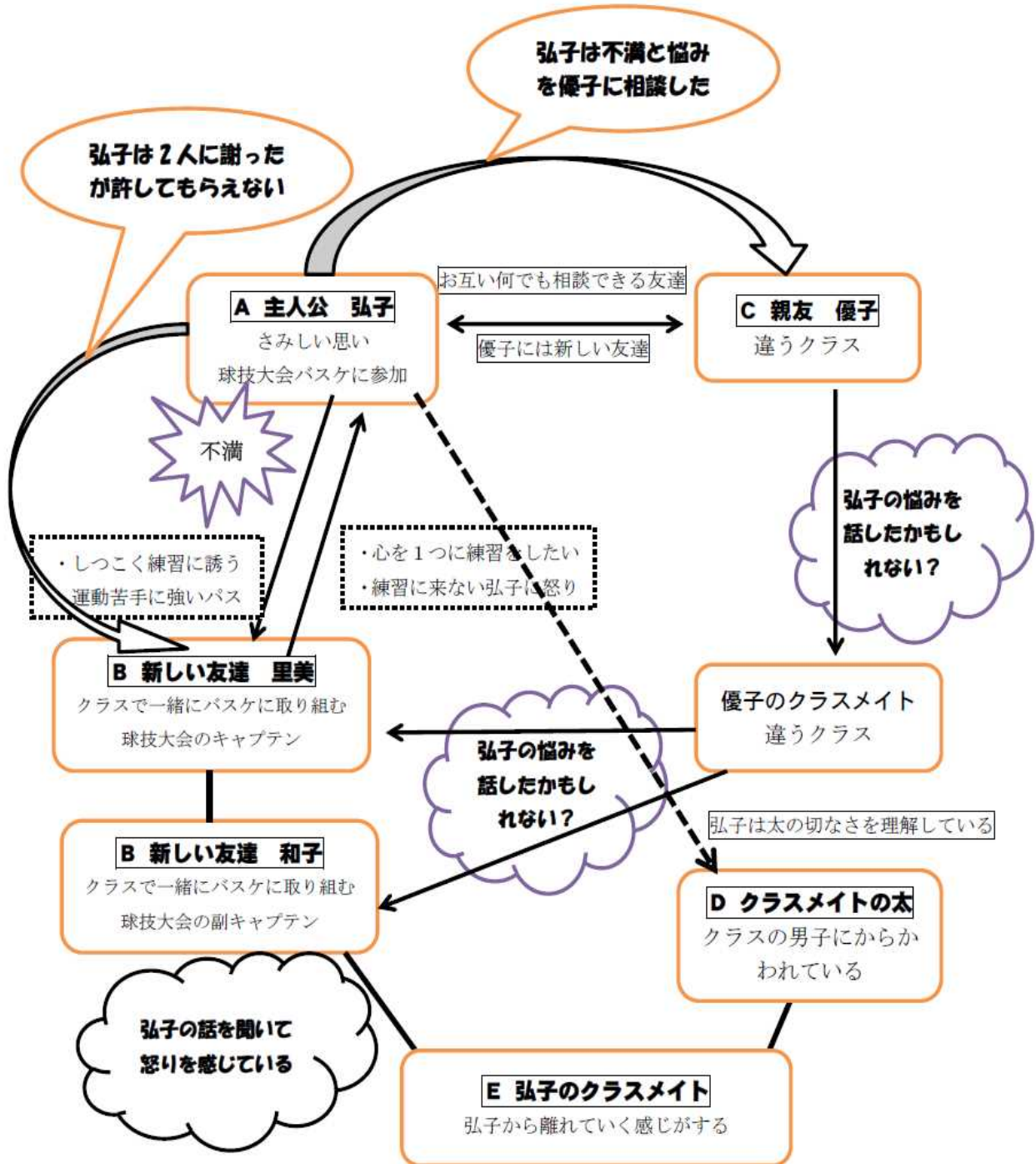
ご厚意に感謝し、大切に使用させていただきます

先日、佐々木 隆一 様（上黒瀬地区）から、同窓会へご寄付をいただきました。佐々木様は、「古希祝」の同級会で皆さんと相談し、京ヶ瀬中学校のために役立ててもらおうと、代表して来校されました。最近の母校の活躍を大変喜ばれ、今後、ますます京ヶ瀬中学校の発展を祈念しますと楽しみにしておられました。



「いじめ撲滅道德資料『二つの笑い』の登場人物相関図」

A 主人公の弘子が、B への不満や自分の悩みを親友のCに話した。その後、Bらの耳に弘子不満が悪口として入り、不快を覚えたBらは主人公を無視する。主人公はBらに謝罪したが、受け入れられず。不登校になり、命を絶つことも考え始める。一方、クラスには男子に常にかかわれ、いじめの対象になっている太がいた。(どの学校でも、このように複雑な人間関係の中で生活しています。)



全校道徳の指導計画（全6時間）

- ・ 10月28日 いじめ見逃しゼロ実行委員会の開催
- ・ 11月 8日 全校道徳①
 - ・ 学級で資料を読み、一人一人が、最初に誰が行動すべきかを考え、その根拠をワークシートに記入する。
- ・ 11月16日 全校道徳②
 - (5限) ・ 同じ主張のグループに分かれて主張の根拠をまとめる。さらに、他のグループの予想される根拠と反論を考える。
- ・ 11月16日 全校道徳③
 - (6限) ・ 京中のいじめアンケートの結果と全国人権作文コンクールに関連して指導及び他のグループからの主張や根拠のまとめをする。その後、まとめたものを学級内と学年廊下に掲示する。
- ・ 11月21日 全校道徳④全校集会
 - (5限) ・ 同じ主張のグループに分かれて主張を再確認し、固める。
- ・ 11月21日 全校道徳⑤
 - (6限) ・ 当日小学生を交えた集会を想定して発表練習をする。
自グループの主張と根拠、発表者とグループリーダーの確認
- ・ 11月29日 あがの子ども未来フォーラムin京ヶ瀬 (13:00～13:50)
いじめ見逃し0スクール集会 (14:00～16:00)
会 場：京ヶ瀬中学校体育館
参加者：京ヶ瀬小学校5・6年生、京ヶ瀬中学校生徒、小中職員、教育長、
教育委員、学校評議員、民生委員、保護者 合計約340名
第1部
 - ・ 京ヶ瀬中のいじめの実態と意識調査の発表
 - ・ いじめを考えるための生徒による劇
 第2部 全校討論会（6限）
 - ・ 解決策別グループの主張とその根拠
いじめを考えるための生徒による劇への参加者の紹介
 - ・ 質疑応答
 - ・ 出演者の感想と振り返り
 - ・ 全体を振り返り、自分の感想や意見を記入する。

Aグループ

主張	弘子さんが、誰かに相談するのが一番良い解決方法だと考えます。
根拠①	弘子が「死にたい」と考えていることを知ってもらうためには、弘子が相談しなければならない。
根拠②	相談して自分のことを心配してくれる人がいることを実感してとりあえず、自殺をやめる気持ちになる。
根拠③	弘子が最初に和子や里美への不満を言った時の気持ちを理解してもらい、その後弘子も自分の行ったことを反省する。

B①グループ

主張	里美さんと和子さんが弘子に話に行き、謝って仲良くするのが一番良い解決方法だと考えます。
根拠①	和子はひどいことを言ったのだから、まず謝るべきだ。そもそも弘子がケガをした時に謝ったり、優しくしていればこんなことにならなかったし、来られなくなった弘子のことを考えれば、自分たちの行動を後悔していると思うから。
根拠②	弘子がつらい思いをすることになった原因の中心だから。やはり中心的なメンバーが動かなくてはだめだと思うから。
根拠③	クラスで話せていた里美、嫌なことを言った和子と仲良くならなければ、本当に解決はしないと思うし、里美が仲良くしてくれれば居場所もできると思うから。

B②グループ

主張	里美さんと和子さんが互いの誤解を解くために、優子さんに謝るのが一番良い解決方法だと考えます。
根拠①	悪口を広めて、いじめの原因を作ってしまった和子さんと里美さんが謝らないと解決しないと思うから。
根拠②	一度弘子さんが謝っているから、和子さんと里美さんが謝れば解決すると思うから。

C①グループ

主張	優子さんが弘子さんの家に行って相談に乗ってあげることが一番良い解決方法だと考えます。
根拠①	弘子は現在味方がいないのだから、親友である優子は話を聴いたほうが、弘子も話しやすい。弘子は電話をしようと考えているのだから、直接来てくれるとうれしいから。
根拠②	優子は、里美や和子に直接話したわけではないが、自分がクラスメイトに話したことに対して、責任を感じている。謝って、味方になってあげることによって弘子は悩みを話すことができるようになるから。

C②グループ

主張	優子さんが最初にいじめに気づき、弘子さんの相談に乗るのが一番良い解決方法だと考えます。
根拠①	弘子が、今一番話したいと思っているのは優子だから。
根拠②	心を閉ざしている弘子でも、親友の優子に心の悩みを全て打ち明けられれば、安心できると思うから。

Dグループ

主張	太さんが弘子さんとコミュニケーションを取ったり、和子さんたちを説得するのが一番良い解決方法だと考えます。
根拠①	1番仲が良いのは優子だが、弘子は少なからず優子に疑いを向けている。また、彼女とは違うクラスだということから、太が動くべきだと思う。
根拠②	太は風邪をひいているだけで、不登校になっていない。不登校の弘子と和子たちの架け橋になることができる。
根拠③	いじめられている同士（同じ立場）だから、気持ちが分かるし、だからこそいろいろ話し合うことができる。

E①グループ

主張	クラスメイトが、弘子さんの家に行って話を聴くことが一番良い解決方法だと思います。
根拠①	話せば少しは楽になる。
根拠②	話しかけることで、弘子さんがクラスメイトを信頼してくれる。
根拠③	クラスメイトだからこそ、気を遣わずに話せることもあるから。

E②グループ

主張	クラスメイトが弘子さんの味方になり、働きかけるのが一番良い解決方法だと思います。
根拠①	クラスメイトが一番行動しやすく、優子の味方になりやすいから。
根拠②	クラスメイトは、両方（優子と里美たち）の気持ちが分かるから。
根拠③	分かっていることが多く、連絡しやすいから。

全校討論会の様子

相手の意見を批判するだけでは、解決方法は見つかりません。相手の意見もよくわかるが、こういう問題もあるので、こうした方がよいという相手の意見を尊重する言い方で話し合いを進めました。話し合いが進むにつれ、小学校6年生や5年生からも解決に向けての意見が出されました。小中学校が一体となり、活発な議論がなされました。みんなが考えて行動しないと、取り返しのつかないことが起こるかもしれません。今こそ、考えて動く「考動」が求められています。

生徒会役員による「いじめ劇」



小学校5年生も意見を発表



Inspire the next

生徒指導部より
生徒指導主事 齋藤 佑

12月の重点期

いじめ見逃し0重点期の生活目標

「絆 深めて あったか京中」

- ・ 3 期テストを意識し、集中して学習に取り組もう
- ・ 2 学期を反省し、充実した冬休みになるよう生活設計を立てよう。

11月の生徒の様子について

良かったこと

- ◎切り替えを意識して学校生活を送りました。
 - ◎生徒会本部を中心に「いじめ見逃しゼロ全校集会」に取り組んでいました。
 - ◎生徒会役員選挙に向け、1・2年生の候補者が毎朝元気な挨拶で選挙運動をしています。
- 12月5日の立会演説会、選挙に向けて責任者と協力し、放課後にたすき作りや演説資料作りを一生懸命行っていました。学年、学級からも候補者を応援している様子が見られます。

いじめ見逃しゼロスクールの取組

京ヶ瀬中学校では11月を「いじめ見逃しゼロ強調月間」として、生徒会本部を中心に各委員会で以下のような取組を行いました。

- 1 全校綱引き大会 (生徒会本部)
- 2 いじめをなくそう全校メッセージ (生徒会本部)
- 3 言葉の花を咲かせようプロジェクト (保健委員会)
- 4 放課後の教室ピカピカプロジェクト (整美委員会)
- 5 服装いいね!ベル着いいね!・全校レク (助け鬼) (生活委員会)
- 6 The best クラスメート (2学年委員会)
- 7 京中を温かい言葉でいっぱいにしようプロジェクト (1学年委員会)
- 8 朝のあいさつ運動・いじめ撲滅4コマプリント (3学年委員会)

全校生徒が心を一にし、協力し合って活動を成功させようとする様子が見られました。そのように心を一にすることが、いじめを絶対に見逃してはならないという気持ちに結びつくと思います。

「自分たちは様々な活動を通し、学校に貢献できる」と考え、主体的に取り組む姿が色々なところで多く見られます。今後は2年生が学校の中心となり京ヶ瀬中学校をぐいぐい引っ張る番です。3年生は、頑張っここまで学校を引っ張ってくれました。その先輩達のよいところを見習い、いまの頑張りを続けてほしいです。

第3回小中合同あいさつ運動 小学校内で響き渡る元気なあいさつ!



「気持ちの良いあいさつでみんなを元気に」

生活委員長 坂井 美波

小中合同あいさつ運動は私たち生活委員会を中心となって年3回実施しました。

小学生とも打ち合わせをしたり、反省会を開いたり、あいさつ運動の場所を変えてみたりと工夫を重ねた年でした。

ボランティアで毎朝多くの中学生が小学校に来てくれ、元気なあいさつを小学生にしてくれました。また、あいさつ運動が終わっても小学生、中学生がお互いに元気にあいさつをしているところを見ると元気が出ます。

2年2組 若月 怜

今年度、小中合同あいさつ運動は3回実施されました。運動を通して、小学生のあいさつ、中学生のあいさつが最初よりもよくなりました。特に声の大きさが大きくなりました。中学生の声のトーンはまだ低いので明るい声を意識して出してもらいたいと思います。

これからも小中合同あいさつ運動という伝統になった行事を大切に続けていき、もっともっと小学生と元気にあいさつを交わしていきたいと感じています。